72 会報

響き

発行所　公益財団法人　聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F
TEL 03-6907-2537
FAX 03-6907-2915
発行人　山東　昭子　編集人　櫻井　博
（題字 山東昭子会長）

平成二十九年度 理事会・評議員会報告

理事会　平成二十九年五月二十二日 開催
評議員会・理事会　平成二十九年六月十二日 開催
なお五月二十二日の理事会においては、定款第三十二条3に基づく「みなし決議」が行われた。

① 平成二十八年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件
理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。

② 平成二十八年度収支決算に関する件
収支決算報告、監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。

③ 平成二十九年度公益財団法人ＪＫＡ補助事業の実施について承認決議された。

④ 次期役員の理事会推薦名簿が承認決議された。
（役員名簿参照）

⑤ 評議員候補者推薦（案）の承認
⑥ 理事候補者推薦（案）の承認
⑦ 監事候補者推薦（案）の承認
⑧ 定款の一部変更（案）の承認
⑨ 平成二十九年度事業計画、平成二十九年度収支予算書が報告された。

平成二十九年度事業計画

【補助事業】公益財団法人ＪＫＡ競輪収益助成事業

① ＦＭ補聴システム無償貸与事業

【一般事業】

① 事業案内
全国聾学校に事業案内送付、全国聾学校長会総会で事業説明

② 「第四十回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」
平成二十九年十二月十一日（月）【後日十二月十八日に変更となった】
会場：衆議院憲政記念館（千代田区永田町）
後援：文部科学省、厚生労働省、東京都教育委員会、全国聾学校長会、全国聾学校ＰＴＡ連合会、全国聴覚障害者親の会連合会

③ 第二十二回全国聾学校絵画展
審査会：平成二十九年七月二十九日
展覧会：平成二十九年十月十九日・二十日
会場：秋田キャッスルホテル
表彰式：最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会長が赴いて実施
後援：文部科学省・全国聾学校長会、全国聾学校ＰＴＡ連合会、全国聴覚障害者親の会連合会

④ 第二十九回全国聾学校合奏コンクール
課題曲：自由
審査会：平成三十年一月九日
表彰式：金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて実施
後援：文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校長会、全国聾学校ＰＴＡ連合会、全国聴覚障害者親の会連合会

⑤ 第十三回全国聾学校作文コンクール
テーマ：自由
審査会：第一次　平成二十九年八月十九日
第二次　平成二十九年九月九日
表彰式：「第四十回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で実施
共催：全国聾学校長会
後援：文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校ＰＴＡ連合会、全国聴覚障害者親の会連合会

⑥ 読字力検定試験　年間三回実施
⑦ 聴覚障害教育関係資料収集事業
⑧ 会報「響き」の発行　年二回
⑨ 募金活動（ハマナス募金）　目標額千五百万円
⑩ 法律相談（インターネット等による法律相談）
⑪ 専門図書、ビデオの紹介・頒布
⑫ 協会ホームページの公開・更新　等
⑬ 聴覚障害教育研究団体・聴覚障害教育振興奨励会・全日本聾教育研究大会への助成
⑭ 聴覚障害乳幼児教育相談研究委員会の新設・実施

平成二十九年度　役員名簿　（敬称略）

理事
（会長）山東昭子　（副会長）森伸夫、浅井健二
（専務理事）櫻井博
（常務理事）木内弘司、宮野忠夫、小林明、仲田邦男
（理事）秋谷義一、阿部きみよ、入澤肇、今井絵理子、桑山哲夫、田中助英、田中美郷、中村喜久子、平口洋、藤本登、牧島ミリ、山田春雄
（監事）関根正浩、本間通義

評議員
荒崎勝美、石川庄六、石橋大吾、伊藤忠、大塚明敏、大沼直紀、大場利秋、小川昭子、小俣昌道、金子昌夫、加藤聖治、木村澄藏、神津郁子、小島藤昭、齋藤佐和、鈴木茂樹、竹内美和子、武田智彦、田中眞由美、戸田典尚、野崎正史、原島恒夫、廣田栄子、森藤才、山勝彦、四日市章、若林友晴

事務局
（事務局長）池上啓二
（事務主事）上田久三、小針丈幸

なお、名簿の中で――――の方は、今年度新たに就任された方です。

ご紹介します。（敬称略）

今井絵理子：参議院議員
本間通義：本間合同法律事務所　弁護士
石橋大吾：全日本ろうあ連盟理事
加藤聖治：株式会社 PM-Japan 代表取締役
廣田栄子：筑波大学名誉教授
森藤　才：全国聾学校長会会長
池上啓二：元横浜聾学校

なお、六月十二日には評議員会・理事会に先立って常務理事会及び聴覚障害乳幼児教育相談研究委員会第一回企画研究委員会も開催されました。また、全ての会議が終了後、協会の理事・評議員懇親会が、山東会長のご出席を得て開催され、四〇名以上のご出席がありました。有難うございました。

協会の事業

平成二十九年度　第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は左記の通りでした。第二回（十月）、第三回（二月）でも、合格目指して頑張ってください。

・受験学校数　五十七校
・受験者総数　一三一四名
・合格者　九八五名
・合格証授与者数　三九三名
　九級：四二名　八級：六二名　七級：三八名
　六級：三八名　五級：三八名　四級：三〇名
　三級：六〇名　二級：二七名　一級：四四名
　特一級：一四名
　※今回の特一級の最年少合格証授与者　中二

第二十二回　全国聾学校絵画展

今年度の審査会は、平成二十九年七月二十九日（土）に行われました。応募学校数三十二校、応募作品総数は四百五十九点でした。内訳は幼稚部十二校・九十六点、小学部二十八校・二百二十七点、中学部十四校・九十五点、高等部・専攻科十二校・四十一点でした。今年度の最優秀賞、優秀賞受賞者は次の十六名です。おめでとうございます。

最優秀賞・文部科学大臣賞
　青森県立青森聾学校
　　幼稚部五歳児　櫻田　栞宥
最優秀賞
　愛媛県立松山聾学校
　　中学部一年　鶴崎　陽仁
優秀賞（幼稚部・小学部部門）
　田上　芽依（鹿児島校）　森中　優友（熊本校）
　中村　佑真（長野校）　池田　傑史（長野校）
　髙橋　紗彩（松山校）　野村　慧光（こばと校）
　山﨑　匠梧（浜田校）
優秀賞（中学部・高等部部門）
　比嘉　萌珠（沖縄校）　宮内　夏妃（鹿児島校）
　松本あやめ（広島南校）　室井　彩（福島県校）
　加藤　稜大（一宮校）　濵田　連（熊本校）
　田淵　海聖（鹿児島校）

最優秀賞（二点）並びに優秀賞受賞作品（十四点）は、平成二十九年度第五十一回全日本聾教育研究大会（秋田大会）会場において展示されます。

最優秀賞［文科大臣賞］（幼・小学部門）
「どうぶつえんにいったよ」櫻田 栞宥
青森聾学校

作品を応募した児童・生徒全員に、参加賞（クリア・ファイル）、優秀賞受賞者（十六点）には絵の具メーカー（株）クサカベ提供の「絵の具セット」を副賞として贈っています。

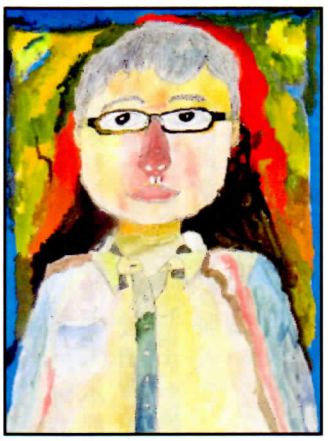
●絵画展審査員講評

審査員　錦織重治（示現会理事　日展準会員）

今回もボランティアの皆さんによって朝早くから会場いっぱいに幼稚部の作品から順番に並べてくださって私はその中から、まずプロの視点で純粋にこれぞと思う絵をピックアップします。次に作者の気持ちに寄り添った目線も意識しつつ選抜しますが今回の作品は、全体的に色が豊富で躍動感があり更には音楽的なリズムさえも感じる作品が多く、これも佳いあれもいいと選ぶのに大変苦労しました。

最優秀賞（2点）では、幼・小部門の櫻田栞宥さんの「どうぶつえんにいったよ」〔文部科学大臣賞〕は、ライオンや白鳥らしき鳥たちの表情と仲良くしている様子とシンプルな色彩と空間も優しくホッコリ感が伝わってきてよかったですね。中・高（専）部門の鶴崎陽仁さんの「自画像」は、バックのカラフルな色によって主役である陽仁さんの表情、性格までも引き立たせて描き切っているとてもよい作品です。

優秀賞（14点）では、幼・小部門。野村慧光さん「トラをみたよ!!ガオ!!」トラの縞模様と愛らしい目が何ともかわいらしくこの絵を見ているだけで動物園の様子をも想像させる魅力を感じました。高橋紗彩さん「くうこうけんがく」は、ヘリコプターでしょうかお友達の表情と赤、緑、空色、黄色で楽しそうに描かれていてこちらも楽しくうれしくさせるいい絵です。山崎匠梧さん「なぞのようかいたち」は、まさしく沢山の妖怪たちが画面にいっぱい描か



最優秀賞（中・高等部門）
「自画像」鶴崎 陽仁
松山聾学校

れていて色彩も豊富でタッチにも動きがありそれぞれの表情もユーモラスさがいいですね。森中優友さん「考えても思いつかない」は、題名もよく思わず引き付けられる構成と更に色彩、バランス、リズミカルないい作品です。表情もいいですね。

池田傑史さん「もっと高く飛べ」は、模型飛行機が高くもっともっと高く飛べと信じてその先、未来を思い願う力強さが描かれているいい作品です。中村佑真さん「千年生き続ける木」は、友達と手をつないで生きていることを感じあっている表情と木の太さ感と枝の力強いのびやかさが表現されているいい絵に仕上がっています。田上芽依さん「本を読んでいる人」は、リラックスし本の世界に入り込んでいる表情が優しく色合いと線に動きがあって心をいやしてくれるいい作品ですね。

中・高（専）部門。田淵海聖さん「漁師」は、大胆な構成、力強さと色合いが漁師さんを引き立たせて絵的にみてもすばらしいです。濱田蓮さん「自由な猫」は、猫特有な自由奔放さが描かれていて上部の空間と黒猫とベッドの黄色と横たわる猫との空気感がなんとも癒されるいい絵です。比嘉萌珠さん「夜になって森を魅せる」は、夜空に輝く星が森に絡みあって樹間、枝間から見え隠れした様が昼には感じえない夢のある深い美しい色合いの絵として仕上がっています。宮内夏妃さん「図書館司書」は、沢山の本の中で係の方と詳しく説明を受けている何気ない風景だが全体〔窓外の緑色から室内へ〕の色彩のバランス補色効果が生かされ構図もすばらしいです。室井彩さん「多分明日はステキな日」は、落ち着いた茶色で統一して描かれているがそれが逆にその先に平和なステキな明るい未来、光を想像させている深い絵ですね。加藤稜大さん「異国の風景画」は、窓から見える異国の明るい空、多彩な濃淡色の建物や橋などの動きのある構成的に骨格がしっかり絵が描けた魅力のある絵ですね。松本あやめさん「幼き頃の思い出」は、遊具と公園の大樹を今も鮮明な記憶を画面いっぱいに絵創りしている感性に感動しました。

最後に、私は絵画展の第一回目から審査員を仰せつかっている洋画家で日展、団体展、個展と50年間画家活動をしている者ですが、この絵画展審査会を何よりも楽しみにしています。それは皆さんの感動と描きたいものをしっかり描き切っているところが、私の絵心を刺激し目が洗われるごとく感動を受け私自身勉強させられているからです。

それは各学校で先生方の皆さんへの絵を描く環境づくりとご指導のたまものと感謝しております。有難うございました。

審査委員　錦織 重治、矢澤 健太郎、木脇 康一
竹内 一、上田 久三

第十三回 全国聾学校作文コンクール

全国聾学校作文コンクール第一次審査は八月十九日（土）に、第二次審査は九月九日（土）に行われました。応募作品総数は昨年度とほぼ同じで百八十二点でした。内訳は小学部（絵日記・日記七点を含めて）七十八点、中学部五十七点、高等部四十七点でした。

今年度の入賞者は次の通りです。

金賞・文部科学大臣賞
東京都立立川ろう学校
中学部三年　原島　帆南

金賞・全国聾学校長会会長賞
筑波大学附属聴覚特別支援学校
高等部二年　渡会　由貴

金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞
筑波大学附属聴覚特別支援学校
小学部四年　香山　侑輝

銀賞
大澤　未來（群馬校）　下条　玲奈（水戸校）
市沢　綺音（沼津校）　永吉　浩美（平塚校）
宇山　日和（筑波校）　竹内　梨真（名古屋校）

銅賞
上條　遙風（沼津校）　鈴木　元太（千種校）
池谷　麻妃（静岡校）　田中　快治（都・中央校）
濱田この実（筑波校）　杉村　隆成（沼津校）

金賞入賞者三名の表彰は、平成二十九年十二月十八日（月）の「第四十回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」において、実施いたします。

また、同日、文部科学大臣賞受賞者は自身の作文を壇上で口頭発表します。

第四十回 聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

今年度の「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は左記により開催いたします。当初協会が計画した日程から一週間遅くなっています。どなたでもご参加できますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ち申し上げております。なお、ご参加（参加費無料）の場合は「参加者名簿」作成のため、事前予約が必要です。協会にご連絡いただければ出席申込書をお送りいたします。

日　時　**平成二十九年十二月十八日（月）**
午後一時～三時二十分
会　場　憲政記念館　東京都千代田区永田町
主　催　公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
後　援　文部科学省　厚生労働省　東京都教育委員会
全国聾学校長会　全国聾学校ＰＴＡ連合会
全国聴覚障害者親の会連合会
協　賛　株式会社日健総本社　他
次　第　第一部　式典
会長挨拶　来賓祝辞　お母さんの表彰
桜内義雄賞授与　第十三回全国聾学校
作文コンクール金賞受賞者表彰
第二部　発表会
聾学校児童生徒の舞台発表
お母さんの体験発表
作文コンクール審査委員長講評　第十三回
作文コンクール文部科学大臣賞受賞作品発表
桜内義雄賞受賞者の発表
第二十二回絵画展等ビデオ放映

●桜内義雄賞

平成二十九年度「桜内義雄賞」受賞者

今年度の桜内義雄賞には、廣瀬芽里さんが選ばれました。1973年生まれ。四十三歳

幼稚部から小学部一年生まで栃木聾学校に在籍。その後東京に転居してからは短大を卒業するまで普通校に通った。受賞理由は「JICAの青年海外協力隊員としてドミニカ共和国のろう学校で教鞭をとるなど、聴覚障害者として自ら途上国の障害者支援に国際的に活躍している」というものです。

ドミニカ共和国のろう学校で

ハマナス募金

当協会で実施しております事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝いたしております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところでございますが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。

郵便振替口座00110-9-134877
名義　聴覚障害者教育福祉協会
銀行振込　みずほ銀行江戸川橋支店
普通口座　1615748
名義　公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会 会長
山東昭子

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

平成二十九年四月一日から九月末までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

株式会社日健総本社（森伸夫）、木内弘司、広島県聴覚障害者親の会、小川昭子、倉田正雄、伏見殿下杯チャリティゴルフ実行委員会事務局、宮野忠夫、森伸夫、株式会社宝古堂美術（山田春雄）、折山精、堀信子、佐々木節子、川村美津子、千葉いのはな会石川庄六、金子昌夫、北海道高等聾学校、竹田統子、伊与久美子、関根正浩、弘田文範、大塚明敏、新潟県難聴児を持つ親の会、鈴木厚、長野県長野ろう学校PTA、日本聾話学校、山本博美、六車郁子、姫路聴覚特別支援学校白鷺会会長竹中恵美子、木村澄蔵、竹内美和子、（株）大場組、西本徹、東京ホールディングス（浅井健二）、株式会社テアトルアカデミー（浅井健二）、群馬県立聾学校親の会、阿部きみよ、小川勝江、坂井美恵子、武田ビル㈱武田智彦、リオン株式会社、全国聾学校長会、草薙進郎、

平成二十九年度
公益財団法人JKA競輪公益資金による
補助事業実施計画

一、事業名
　平成二十九年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
二、事業実施内容
（一）FM補聴システム（リオン株式会社製）の購入・無償貸与
　送信機・受信機三十セット
　全国聾学校・聴覚特別支援学校、小学校、中学校、難聴幼児通園施設に在籍、在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与

※　今年度の移動母子教室については、残念ながらJKA競輪公益資金による補助事業として認定されなかったので、全てを協会の自己資金で行う「一般事業」として実施いたします。

移動母子教室の開催
十一月二十八日（火）予定
福岡県福岡市
福岡市立心身障がい福祉センター（ありんこ園）
「年齢ごとの子育ての視点や具体的な関わり方」
講師　坂井　美恵子　元大阪府立生野聾学校長

KEIRIN 競輪＆オートレースの補助事業 Auto Race

編集後記

相変わらず各地で大きな自然災害が続いています。「何十年に一度」という集中豪雨が最近多いように思います。地球温暖化の影響なのでしょうか。雨にしても風にしても地震にしても自然がその牙を剥いた時に、人の無力さをいやというほど思い知らされています。被災地の皆様にお見舞い申し上げます。

会報響きは年2回の発行ですから、今号では主に五月、六月の理事会及び評議員会の報告、新役員のご紹介、事業計画等を掲載いたしました。今年度は当協会の新たな事業として「聴覚障害乳幼児教育相談研究委員会」が発足しました。この事業に関しての報告は次の会報に掲載する予定です。